

行ってみよう 棚田



▲鬼木棚田

2022年2月、「つなぐ棚田遺産」選定！！

- 日本棚田百選が1999年に認定されて20年以上が経過した今、棚田地域では担い手の減少や農家の高齢化等により荒廃の危機に直面しています
- このような中、2019年に農林水産省を含めた5省庁により横断的で総合的に支援する 制度として、「棚田地域振興法」が施行され、棚田地域の振興に向けた取り組みが広がっています
- そこで農林水産省では、改めて優良な棚田を認定する取組として「つなぐ棚田遺産」（全国で271ヶ所）を選定しました（次頁参照）



▼大中尾棚田



▼土谷棚田



▼春日の棚田 ▶



**長崎県内で「つなぐ棚田遺産」に
選定された地域は以下のとおりです**

- | | |
|----------|--------------|
| ①大中尾棚田 | 長崎市神浦下大中尾町 |
| ②大根坂の棚田 | 平戸市大島村 |
| ③春日の棚田 | 平戸市春日町 |
| ④土谷棚田 | 松浦市福島町土谷免 |
| ⑤ちぢわ岳棚田 | 雲仙市千々石町岳集落 |
| ⑥日向の棚田 | 東彼杵郡川棚町木場郷 |
| ⑦鬼木棚田 | 東彼杵郡波佐見町鬼木郷 |
| ⑧川内棚田 | 東彼杵郡波佐見町川内郷 |
| ⑨野々川郷百枚田 | 東彼杵郡波佐見町野々川郷 |

農林水産省ホームページでは、
各棚田の詳しい情報を紹介しています

⇒ [長崎県内のつなぐ棚田遺産](#)

⇒ [つなぐ棚田遺産について](#)

棚田を訪問する際には
マナーを守った行動をお願い致します



棚田情報

①大中尾(おおなかお)棚田(長崎市神浦下大中尾町)

つなぐ棚田遺産選定 日本棚田百選認定

おすすめの時期・アピールポイント

- ・7月頃の稲が風にたなびく景色は必見
- ・夏は、近くにある清流、神浦川(環境省から日本一の清流に選ばれたこともある)での水遊びも楽しい



<歴史>

- ・1746年(江戸時代)に大村藩主が開いたと言われている
- ・農業用水として神浦川から4.2kmの水路を引いて利用している



<棚田情報>

- ・良質な「**棚田米**」を生産し、道の駅(夕陽が丘そとめ)で販売
- ・「**棚田オーナー制度**」実施(2019年度のオーナーは35組)
⇒田植え・稲刈りなどの農作業体験や水路の清掃
- ・「**農山漁村交流体験**」実施
⇒棚田米を使用したおにぎり作りやうどん打ち体験
- ・「**大中尾棚田火祭り**」開催
(毎年10月下旬頃の1日間)
⇒棚田に**約6,000本の竹灯篭**が灯され多い年には1,500人が訪れます

現地で探してみよう! 📷



棚田情報

③春日(かすが)の棚田(平戸市春日町)

つなぐ棚田遺産選定 世界文化遺産登録

おすすめの時期・アピールポイント

- ・4月頃の、農家の方が田植え作業をしている風景
- ・7月頃の、南風に稲がたなびく風景



<歴史>

- ・起源は不明ながら江戸時代の春日の棚田の絵図が、松浦史料博物館に保管されている
- ・2010年 重要文化的景観「平戸島の文化的景観」に選定される
- ・2018年 春日集落案内所「かたりな」の設置
- ・2018年 世界文化遺産登録
(登録後、観光客激増・・2019年度は2万人)

<棚田情報>

- ・春日集落案内所「**かたりな**」の設置
⇒春日集落の住民が語り部として常駐
⇒「棚田米」や棚田米を原料とした加工品や日本酒を販売



◀ かたりな

売れています



かんころもち

甘藷を混ぜた餅の和菓子で、長崎県の郷土料理

- ・2018年に「世界文化遺産」登録
⇒景観を生かした棚田の「**イルミネーションイベント**」の実施(11月頃)
- ・「**棚田ウォーク**」「**稲刈り体験**」等、都市住民との交流活動

現地で探してみよう! 📷



▲世界遺産登録の碑

棚田情報

④土谷(どや)棚田(松浦市福島町土谷免) つなぐ棚田遺産選定 日本棚田百選認定

おすすめの時期・アピールポイント

- ・4月から5月の田植えの時期に、水が張られた棚田に映る夕日の美しい景色
- ・夏の棚田のグリーンと海のブルーの美しいコントラスト



棚田に映る夕日

<歴史>

- ・起源は明治時代といわれている



火祭り

<棚田情報>

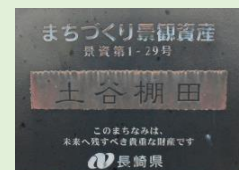
・「土谷棚田の火祭り」(秋)

⇒棚田の畦(あぜ)に3,000灯のろうそくが灯されます
また、翌日から1週間程度は、6,000灯のLEDが灯され、棚田をライトアップ!

- ・自然の傾斜に高さ5メートルの石垣を組み合わせ、約400枚の棚田を形成している

- ・国の補助事業を活用した、農道・水路及び法面等の管理によって、土砂流出防止や良好な景観を維持している

現地で探してみよう! 📱



棚田情報

⑤ちぢわ岳(たけ)棚田(雲仙市千々石町岳集落)

つなぐ棚田遺産選定 日本棚田百選認定(清水棚田※)

おすすめの時期・アピールポイント

- ・5月初旬からの、田植え時期の風景
- ・9月下旬の、稲刈り風景
- ・今も昔と変わらず、ホタルの鑑賞ができますよ

<歴史>

- ・起源は明治時代初期といわれている



▲石積の棚田

<棚田情報>

- ・急斜面の土地を活用するために、山を切り開き、出た石を運び、手作業で築かれた石垣により形成される

- ・地元の方々は、先人から受け継がれた土地と技術を大事にしなが、惜しめない努力で棚田を守っています

- ・県内の調理師専門学校へ「食農教育」を実施
⇒調理のほか、田植え・稲刈りも行う

現地で探してみよう! 📱



※岳棚田のある岳地区の一部が、「清水棚田」として日本棚田百選に認定されている

おすすめの時期・アピールポイント

- ・鬼木棚田まつりに合わせて開催される案山子コンテストは、見る人を楽しませてくれます
- ・展望所からの秋の眺めは、彼岸花と稲穂のコントラストが美しく、一見の価値あり



<歴史>

- ・起源は不明ながら、江戸時代の比較的早い時代に開発されたと考えられている
- ・波佐見村の江戸時代の地図が「大村管内絵図」として長崎県歴史文化博物館に残されている



<棚田情報>

- ・「鬼木棚田まつり」開催（毎年9月頃）
⇒枝豆収穫祭やユニークな案山子コンテスト(その年に話題となった出来事や人物などをモチーフにした案山子が100体以上!)など、楽しいイベントあり
(案山子の展示期間は、9月下旬～10月上旬です)
- ・良質な「棚田米」を生産・販売
- ・鬼木加工センターでは、地域農産物を使った味噌・甘酒などの加工品を製造・販売



▲フリーズドライ味噌汁

現地で探してみよう!

